



# 広報もみや号外

平成23年  
12月14日発行  
本宮市  
秘書広報課  
☎33-1111

No.13

## 内部被ばくの測定始まる!

# 4歳以上の未就学児から ホールボディカウンターで測定開始

市では、内部被ばくへの不安の解消と健康管理につながるため、12月1日からホールボディカウンターによる測定を開始しました。

放射性物質が取り込まれていないかどうかを確認します。また、測定した結果に基づいて、成人では50年間、子どもでは70歳までに体内から受けると思われる内部被ばく線量(預託実効線量)を推計します。



- (上) 約5分間、座った状態で測定します。子どもたちはアニメなどを見ながら測定することができます
- (下右) 測定前には衣服などに放射性物質が付着していないか専用のサーベイメータで測定します
- (下左) 測定後、すぐに検査結果をお知らせします

## 測定の実施方法

### ■測定対象者

今年度4歳以上で測定を希望し、測定可能な市民の方

### ■測定日

土日、祝日、年末年始を除く平日に測定します。測定に来ていただく日時は個別に通知しています。

### ■測定時間

午前9時～午後5時の間で、個別に受付時間を指定して通知させていただきます。なお測定には一人あたり5分かかり、その場で検査結果をお知らせします。

### ■測定場所

えぼか 健康増進広場内

### ■検査費用 無料

### ■測定対象者の予定

現在測定対象の4歳以上未就学児の測定が終了次第、妊婦(平成24年1月下旬からの予定)、小学生、中学生、一般の方の順に対象を拡大していきます。

### ■問い合わせ先

保健課 健康増進係  
(えぼか内) ☎631-2780

## 甲状腺検査が始まりました!

市では、原発事故の長期化による健康被害への不安解消と子どもたちの将来にわたる健康管理のため、11月25日から市独自で甲状腺超音波検査を実施しています。

### ■対象者 18歳までの市民で

平成23年4月1日までに生まれた方(検査を希望し、検査可能な方)。

先行調査として4歳児未満から個別に通知し順次検査をしています。

### ■検査場所 国保白岩診療所

■測定日時等 診療所休診日を除く毎週金曜日  
午後1時～4時

### ■検査費用 無料

## 「ご存じですか?」

日本赤十字社では被災地復興支援の一つとして、今年度70歳以上の方を対象に肺炎球菌ワクチン接種費用の助成事業が実施されています。

希望される方は医療機関に予約を入れて摂取してください。

### ■問い合わせ先

保健課 健康増進係  
(えぼか内) ☎631-2780

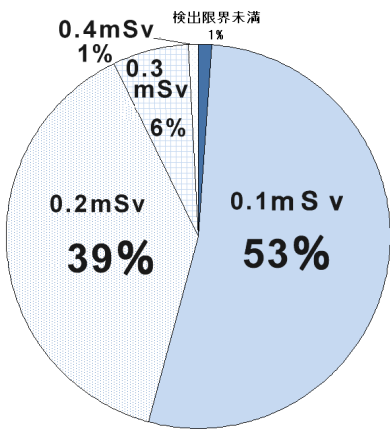
# 外部被ばく測定結果

## ガラスバッジによる測定結果

9月1日から1カ月間、中学生以下の子どもと妊婦の皆さんがガラスバッジを着用し、積算線量を測定した結果がまとまりましたのでお知らせします。

ガラスバッジ回収人数は、4745人で、最大値は0.6ミリシーベルト、全体の平均値では0.2ミリシーベルトでした。

今回の結果から本宮市放射線健康リスクアドバイザー野口邦和先生と福島医科大学および福島県線量アドバイザーグループの委員の先生方より次のとおりアドバイスをいただいております。



測定値の分布

検出限界未満	0.1ミリシーベルト	0.2ミリシーベルト	0.3ミリシーベルト	0.4ミリシーベルト
52人	212人	1533人	300人	36人

- ▽ 今回の結果は、現状における1カ月の積算線量を把握するためのものですが、健康影響を心配するレベルの線量の方はいませんでした。
- ▽ 現在、12月～2月(3カ月)の測定を予定しておりますが、今後もガラスバッジの着用方法を守り、正しく測定することが大切です。
- ▽ 今後、効果的な除染が行われることに加えて、放射性物質の減衰などの理由で、線量はさらに低下していくと予想されます。

## 電子式積算線量計による測定結果

高校生および同年代の方々と50歳未満の方々を対象として、電子式積算線量計を1～2週間貸出した結果をお知らせします。

(1) 貸出人数 325人

(2) 年間線量の推計値

■ 自然放射線による寄与を含む放射線量

(単位…ミリシーベルト/年)

・ 最小値 0.67

・ 最大値 4.67

・ 平均値 1.87

■ 福島原発事故に起因する年間線量の推計値

(単位…ミリシーベルト/年)

・ 最小値 0.00

・ 最大値 3.52

・ 平均値 1.04

## 電子式積算線量計貸出ししています!

- ◆ 対象：高校生以上の方
- ◆ 受付時間：午前9時～午後5時まで
- ◆ 場所：えぽか2階 保健課
- ◆ 貸出期間：1～2週間

既に貸出しを受けた方でも貸出し可能です。身分を証明するもの(運転免許証や健康保険証)と印鑑をご持参ください。

### ◆ 問い合わせ先

◆ 問い合わせ先  
保健課(えぽか内)  
☎ 631-2780

- ・ 最小値 0.00
  - ・ 最大値 3.52
  - ・ 平均値 1.04
- (3) 測定値の分布
- 【1】 1ミリシーベルト以下 173人(53.23%)
  - 【2】 1～2ミリシーベルト以下 138人(42.46%)
  - 【3】 2～3ミリシーベルト以下 13人(4.00%)
  - 【3】 3ミリシーベルト以上 1人(0.31%)
- (推計値では、0から2ミリシーベルトの方で全体の95.69%を占めます)

## 学校給食

### 平成23年度産米の使用開始について

市内小中学校の学校給食に使用する平成23年度産米について、放射性物質検査で安全を確認したものを12月5日より使用開始しました。

安全安心のための方策は3段階です。

#### 【第1段階】

早場米検査、予備検査、本検査の結果、放射性ヨウ素および放射性セシウムのいずれも検出されなかった地元の地域で生産された玄米を、給食センターで使用する1年分として他の一般米と分離して確保しました。

#### 【第2段階】

分離確保した玄米(一袋30キロ入り)を給食センターが全て検査し、検出限界値未満のもののみを精米します。なお、検出限界値は1キロ当たり10ベクレルです。

#### 【第3段階】

精米した一袋10キロ入りの白米20袋に対し1袋の割合で給食センターが検査し、検出限界値未満の場合のみ受入れ、学校給食に使用します。

12月11日現在、玄米145袋、白米9袋を検査した結果、全て検出限界値未満でした。

### ◆ 問い合わせ先

本宮方部学校給食センター  
☎ 331-2025

## 自家用農産物の放射性物質測定結果

本宮市では、市民の皆さんの安全・安心のため、11月11日から「放射性物質検出器」により、自家用農産物の検査を行っております。今回は11月分の検査結果で、3検体以上の検査品目についてお知らせします。

品目	件数	検出数	放射性セシウムの値 (単位ベクレル/kg)	
			最小値	最大値
玄米	45	5	14.33	160.6
じゃがいも	42	2	16.71	67.21
白菜	34	0	—	—
白米	33	0	—	—
大根	30	0	—	—
柿	11	5	10.71	33.38
ゆず	9	8	89.04	346.7
キウイ	6	6	51.76	471.7
長いも	4	1	—	10.95
玉ねぎ	4	0	—	—
人参	4	0	—	—

検出限界値は10Bq/kg以下です

※検出結果はセシウムのみ。ヨウ素131は検出されておりません。  
※詳細については市のホームページをご覧ください。か、大字毎にまとめた一覧表を、市役所農政課・白沢総合支所産業建設課窓口にて備え付けておりますのでご覧ください。

## 自家用農産物放射性物質測定のお知らせ

これまで1世帯1検体に限らせていた、自家用農産物のモニタリングの申し込みについて、12月12日から次のように変更しました。

●別の検体の測定を希望される方は予約済みの農産物の検査が終わってからの予約となります。一度にお申込みできる品目は1世帯1検体に限りません。

●市民の皆様から多数お申込みをいただいております。できるだけ多くの方々にご利用できるようにご理解とご協力をお願いいたします。

### 【農政課からのお知らせ】

●測定の対象となる農産物は次の物に限らせていただきます。

●市民の方がご自身で栽培し、ご自身で食べるもの。

●第三者から譲られたもの、購入したものの、贈られたものについては、生産元とのトラブルになりかねませんのでお受けできません。放射性物質の安全性の確認は生産元、または販売元へご確認ください。

※販売を目的とする農産物は対象外です。

●農産物以外の測定はできません。

●皮付きのまま食べるものは皮付きのまま、皮やヘタや種を取り除いて食べるものは皮やヘタ、種を取り除いて刻んでお持ちください。

### ◆問い合わせ先

農政課(☎内線157)

## 和田小学校プールで除染実証試験

和田小学校では、内閣府委託事業として学校プール水の除染技術実証試験を実施しています。

●独立行政法人日本原子力研究開発機構の公募に応じ、採択された国立大学法人東京工業大学のスタッフと、特定非営利活動法人再生舎による作業が現在進行しています。

「フェロシアン化鉄配合吸着凝集沈殿剤を使用した放射能汚染水浄化システム」の提案として除染作業を実施しています。プールの水をプラントに集め、そこに顔料として使われているフェロシアン化鉄(紺青)を入れて攪拌し、放射性物質を凝集させて沈殿させ、水をろ過するシステムです。

●そのため、プラントを数基設置しており、12月中旬に実施する予定です。

●なお、排水時には1キログラム当たり200ベクレル未満の飲料水の基準の水となるよう処理し排水します。

### ◆問い合わせ先

幼保学校課 幼保教育係  
(☎内線234)

## 防災無線による環境放射線量測定値のお知らせについて

現在、火・木・土曜日にお知らせしている市内13カ所の公共施設の環境放射線量については、毎週土曜日に直近の測定値をお知らせすることに変わります。なお、測定はこれまで同様週3回測定を行い、市のホームページに掲載いたします。

### ◆問い合わせ先

市長公室 秘書広報課  
☎内線223

## 水道水のモニタリング調査結果について

12月9日までの検査の結果、放射性ヨウ素、放射性セシウムは検出されていません。安心してご利用ください。

### ◆問い合わせ先

企業局 上下水道課  
☎631132

## お詫びと訂正

広報もとみや12月号22ページに掲載した「年末年始の市の各施設が休みとなります」の記事中、休業期間に誤りがありました。お詫びし訂正します。

- ◆白沢老人福祉センター  
(誤)12月28日(水)から1月4日(水)まで  
(正)12月28日(水)から1月3日(火)まで
- ◆文化施設、体育施設、高齢者ふれあいプラザ  
(誤)12月28日(水)から1月3日(火)まで  
(正)12月28日(水)から1月4日(水)まで



# 線量低減化活動(除染)にご協力いただいております!

市内の町内会・行政区では、子どもたちの生活空間の被ばく線量を下げるため、通学路などの除染作業に取り組んでいただいています。

この除染作業は、福島県の線量低減化活動支援事業補助金50万円を活用して、高圧洗浄機やスコップ、ほうきなど必要な資材を購入して、町内会・行政区単位で除染にとり組んでいただいているものです。作業は、道路、歩道や集水枡の土砂を集めて一時保管し、草刈りや高圧洗浄機で路面をきれいに清掃する方法で行われます。



【岩根みずきが丘町内会の除染作業の様子】

(上右) 集水枡の土砂を取り除きます  
 (上左) 作業前後の放射線量を測定しています  
 (下) 土砂等を取り除いた路面を高圧洗浄機で洗い流しました

町内会・行政区のうち36町内会・行政区から補助金申請があり、うち12町内会・行政区ではすでに除染作業が完了しています。

なお、市では年内に除染計画を定めて、市内の本格的な除染に取り組んでまいりますのでご理解とご協力をお願いいたします。

## ◆問い合わせ先

「補助金申請に関すること」  
 市長公室 秘書広報課

☎内線223

「除染作業に関すること」  
 生活福祉部 生活安全課

☎内線112

## 震災から9カ月

# 市長メッセージ



本宮市長 松 義 行

東京電力原発事故による様々な問題の中で、いまだ市民の皆様には健康への不安や、農畜産物および商工業への実害と風評被害は深刻であり、依然として心休まることのない日々をお過ごしのことと思います。

本市は震災以降、国や県の関係機関に対して、様々な要望活動を展開しながら、市が実行できる対応策を進めてまいりました。

市では震災からの復旧・復興を実現させるために、被災した道路や公共施設の改修に全力をあげて取り組んでおります。

放射能問題につきましては、通学路をはじめ広範囲な放射線量軽減対策が重要な課題と位置づけ、市内全域の放射線量測定を実施して、11月には市独自の線量マップを全世帯へ配布させていただきました。

また、乳幼児から中学生までのガラスバッジ貸出しと、電子式積算線量計の貸出しも対象を全ての年齢層まで拡大させていただいております。さらには、子どもたちと市民の健康管理については、「ホールボディカウンター」や「甲状腺超音波検査」を順次開始しました。

農畜産物の実害および風評被害対策

として、首都圏の商店街や大学等のイベント開催時に、本市の農産物の安全性を積極的にPRしております。

また、市民の皆様が自家消費用に生産された農産物の安全を確認していただくために白沢総合支所内に「放射性物質測定所」を開所し、希望される方にご利用いただける状況にあります。また、給食センターにも同様の測定機器を設置することで、安全安心を担保すべく対応しております。

本市といたしましては、放射能被害から一日も早い生活環境の回復に向けた環境浄化、特に放射能除染対策のための仮置場対策については、全力で取り組み、市民の皆様への健康管理、安全をPRするための販売促進や農業をはじめ地場産業の振興など、これまで以上に災害に強いまちづくりを大きな柱とし、あわせて本市が福島県のほぼ中央に位置する地の利を活かし「福島へのそ・本宮」を広くPRするかたちで「復興計画」を年内に策定いたします。

また、今回のような大規模災害時には、被災していない遠隔地の自治体と防災協定を含む内容での交流が必要であると考え、埼玉県上尾市との交流を小学生たちの宿泊事業から始め、先月11日には上尾市での「災害時相互応援協定」の調印式に臨み、翌日には「あげお産業祭」でも、本市農産物等の販売促進を図ってまいりました。

私は市民の皆様方が抱かれる様々な不安を払拭するために、全力を傾注し復興に向けた努力をしております。そして、一日も早く「元気な本宮」を取り戻すために、市民の皆様とともに進んでまいりたいと考えておりますので、さらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。